

## しもにたしんりん

第8号



列条間伐講習会



## 主 な 内 容

- 第四十一回通常総会開催
- 産業廃棄物建設阻止決起大会で組合長決意表明
- 平成18年労働安全衛生大会  
“災害ゼロから危険ゼロ”
- 交付金案内
- 交通安全講話
- 荒船湖サマーフェスティバル

# 第四十一回 通常総会開催

下仁田町文化ホール

四月二十八日(金)下仁田町森林組合の第四十一回通常総会が下仁田町文化ホールにおいて午後一時三十分より開催されました。組合

員数一、四七八名のうち一、一一二名(本人出席二七三名 書面出席八三九名)並びに来賓多数の出席のもと、開催された。



神戸代表理事組合長あいさつ



祝辞の岡田常夫町長



島崎総務課長



祝辞の織田沢俊幸県議



祝辞の富岡環境森林事務所 新井隆夫所長



通常総会出席者

赤岡正敏副組合長の開会の辞に始まり、代表理事組合長の神戸金貴より「平成十六年度は大幅に収支のバランスを崩し組合員の皆様には多大なご心配をおかけしましたことをお詫び申しあげます。原因は公共事業等の減少により四割近い減収となりました。平成十七年度は減収を想定し役職員の人件費の削減、無駄な経費の削減、仕事量に見合った稼働日数等を実施し収支のバランスを図り、回復の兆しが見えて多少ではありますが剰余金を計上することが出来ました。しかし、林業を取り巻く経済環境は益々悪化の一途を辿っており回復の兆しは全く見えませんが役職員一丸となって時代の変化を見極めながら組合員の皆様のお役に立つ仕事を実施して行きます。」と挨拶された。

来賓祝辞を群馬県議会議員の織田沢俊幸様、下仁田町長岡田常夫様、富岡環境森林事務所長新井隆夫様よりをいただいた。続いて青倉地区島崎紘一氏を議長に選出し、第一号議案平成十七年度事業報告、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案、第二号議案平成十八年度事業計画、又本年度は第十一号議案で定款及び役員選任規程並びに森林経営事業実施規程の一部改正、第十二号議案で森林・林業・山村再生実行計画等総務課長島崎が読み上げ上程され全議案が可決承認されました。

質疑については森林整備支援交付金制度の継続化等についてご意見、要望等があり組合

表彰者 小井土洋一氏



表彰者 7名



長神戸および指導課長小井土より答弁された。  
また、総会に先立ち昨年の役員改選により退任された小井土洋一氏他十一名の旧役員と、今年二月末で定年退職した従業員 谷 一郎氏が長年、林業振興及び組合運営に尽力されましたので感謝状が贈られました。  
午後三時四十五分に赤岡副組合長の閉会の辞で通常総会を終了致しました。



## 清潔で安心、安全の下仁田町を守ろう 産業廃棄物建設阻止 決起大会で 組合長決意表明

二千人が集結した



三月十九日下仁田町立下仁田中学校体育館において、下仁田町産廃阻止町民の会主催の産廃阻止決起大会が行われ地元町民及び富岡市の市民二千人が集結して行われた。これは東京の山田建設が下仁田町役場の北方丘陵地に産業廃棄物最終処分場を建設すると言うことです。大会では町内各種の団体代表者二十数名の方が決意表明を発表した。当組合も組合長が林業代表として「下仁田の自然環境全体に対し致命的な傷をつける行為で町民の未来の芽をぶち壊す暴挙であり絶対許すことは出来ない」と産廃建設阻止の決意を発表したので全文を掲載いたします。産廃建設阻止に一役を担いました。

### 決意表明文

山田建設が作ろうとしている産廃施設は、我々がこれから活用しようとしている下仁田の自然環境全体に対して致命的な傷をつける行為であり、下仁田町民の未来の芽を完全にぶち壊す暴挙であります。

こんな暴挙は絶対に許すことは出来ない。

下仁田町森林組合では一昨年、理事全員の連名をもって、建設反対の「決議文」を知事と県議会に提出してあるところであります。我々は長い年月、先祖伝来の土地や山を大切に守り、そして育ててきました。その努力の結果、県下で最も緑豊かな環境の良い町を作りあげたのです。町の八十七パーセントが森林と農地であります。この構成比率こそが下仁田町の特徴であり下仁田の経済と文化を支えてきたのであります。

一方で、近年は急速な地球温暖化の弊害が顕著になってきました。これに対して、最も効果的な防止対策は、森林の手入れを中心とした環

境整備であると言う認識が高まり、国家と国民が一致して、大きな期待を寄せている事であります。

またもう一方で、団塊の世代が大量に定年を迎える時を迎えて、「田舎暮らし」に憧れ、志向する流れも大きく加速しています。森林と農地、また空き家の利用の仕方では、下仁田町がこれからの時代の期待に応えることが十分可能になり、未来が見えてきたのであります。最も大切なことは、地域全体が、清潔で安心、安全の町、下仁田のイメージを守り、持続的に育て続けることでもあります。

山田建設の産廃施設は、我々のこうした考えには全く相容れないものであり、下仁田町で唯一可能性のある未来の芽を完全にぶち壊す暴挙であります。こんな暴挙は絶対に許すことは出来ません。こんな不良施設が出来てしまつては町の未来はありません。皆さん団結して阻止しましょう。

## 特殊な伐採はお任せ

庭や屋敷周りにある小さな木から、電線などに接触しそうになっている木、寺院、神社の境内などで周りに建物などがあり、簡単に切り倒すことのできない大木を、上から順番に吊るしながら伐採する特殊作業まで、伐採の依頼に応えています。

問い合わせ 指導課まで



(写真右上) 伐採作業前  
(写真右下) 伐採完了  
(写真左上) 伐採作業中

## 平成18年 労働安全衛生大会

### “災害ゼロから危険ゼロ”



(写真2) キャタピラー三菱戸塚俊彦氏



(写真1) 鈴木信雄氏

労働安全衛生大会が、平成18年1月17日及び2月17日に開催されました。安全大会は毎月実施されていますが、今回は年始2回の大会内容を報告します。

まず1月17日の安全大会は、安全管理士の鈴木信雄様より(写真1)下仁田町森林組合における「リスクアセスメント」の演習と講習が行われました。

実際に現地に行き、現地の本質をえぐりだすことから始め、伐倒作業を例にとり、作業準備から伐倒までのプロセスを考えながら作業手順を話し合い、危険要因を洗い出す訓練をしました。

そして、2月17日は東日本キャタピラー三菱建機販売(株)群馬支店の戸塚俊彦様による(写真2)車両系建設機械安全講習会を実施しました。スライドで実例を取り上げ、災害ゼロから危険ゼロを目指すための講習で、危険に対するマヒが怖い結果を招くと改めて実感しました。

組合長あいさつでは、『時に起こりうる危険を徹底的に協議し、未然に防いでもらいたい』と話され、指導課長は、『各自一人ひとりが健康管理に留意して、リスクの低減に向け、全員で安全作業の知識を高めて、安全な職場づくりを進めていきたい』と参加者全員に呼びかけました。



加工センター情報

ふるさとの山の木をおおう

ログハウス、物置、子供部屋、趣味の部屋等がほしい方の為に、加工センターでは、自然とゆとりのある空間を、手軽で低価格を実現しました。

手間のかかる屋根などをパネル化することにより、合理化できました。ログハウスは自然木が持つ木目のやさしさと丸太自体の断熱効果が最大の特徴です。

今後、展示場を作りますので、ご家族で、またお友達とぜひお越し下さい。

我が家がリゾートになるといいですね！

問い合わせ 加工センター  
TEL 0274(82)4301



▲ログハウス

▼物置



市況

第八六回（六月二十日）及び第八七回（七月二十日）に素材入札が行なわれました。

出材量は、第八六回が四七五㎡（落札率九三・一％）第八七回は五四六㎡（落札率一〇〇％）でした。

今回は材の品不足が依然として続き価格は高値で取引されている、規格ごとに見ると柱材（三・〇〇m）丸太が特に品不足状態である、不足しているとはいえ、末口が一四cmのものは市場性がないことから、末口一八cm以上の太め造材が人気です。それ以下は四・〇〇mにしていただきたい。

市況表

樹種	長さ	径級	平成18年6月20日		平成18年7月20日	
			安値	高値	安値	高値
すき	3.00	14~16	10,530	12,990	-	-
		16~18	-	-	11,630	11,940
		18~20	11,050	13,220	-	-
		20~22	-	-	11,600	13,860
		22上	13,000	13,140	-	-
	3.65	16~24	12,600	13,000	11,200	13,830
		26上	12,600	12,790	12,100	13,130
		20下	9,130	10,120	9,570	12,100
	4.00	22~28	11,560	12,920	11,900	14,000
		30上	11,560	15,890	12,650	18,200
30上		-	-	26,000	26,000	
6.00	14~18	-	-	17,200	17,500	
ひのき	4.00	10~13	8,560	11,600	11,000	11,000
		14~16	23,860	23,860	15,200	15,200
		24~26	23,080	23,080	-	-

おくやみ

平成十八年五月二十五日、前理事 神戸弘さんが病気のため七十一歳で逝去されました。

神戸さんにおかれましては二十五歳で小坂村森林組合の理事に就任し以来、平成十七年五月まで四十四年間（理事十三期・監事二期）組合の役員として組合運営にご尽力されました。今までのご功績に感謝いたしますと共に心からご冥福をお祈りいたします。

平成十八年五月二十九日、現理事 高橋和夫さんが病気のため六十二歳で逝去されました。

高橋さんは昨年の役員改選により理事として地区推薦を受け五月から就任され組合運営に精神誠意尽くしてまいりました。今までのご功績に感謝申し上げますと共に心からご冥福をお祈りいたします。

お知らせ

広報紙綴り用ファイルが多少ございますのでご希望の方は森林組合総務課（0274-82-2306）までお申込ください。郵送いたします。

2006年8月  
発行 下仁田町森林組合  
群馬県甘楽郡下仁田町大字下小坂45-7  
TEL 0274(82)2306  
http://www.snt-shinrin.or.jp  
E-mail shimonia@snt-shinrin.or.jp